

## もの言う牧師のエッセー 第191話

## 「3D技術で格安義手」

当方の地元、LAのレイクウッドから嬉しいニュースが飛び込んで来た。患部が壊死する先天性の病気「コンパートメント症候群」を発症した為、生後9カ月で肘から先の左腕を切断した7歳の女の子、フェイスちゃんに、最新の3Dプリンター技術で作った義手が贈られた。彼女は今、大喜びで自転車に乗るなどしている。

一般的な義手は6000～4万ドル（約72万～480万円）と高価だが、こちらは新技術によって24時間で製作され、僅か50ドル（約6000円）にまで抑えたというからすごい。大人に比べて成長が早く、義手がすぐに体に合わなくなる子供の障害者とその家族にとって、格安の値段で入手できる義手の開発は大きな朗報であり、Good News とは正にこのことだ。事実彼女は過去2年に渡って義手なしで過ごしていたという。

3D関連メーカーや技術者らでチームを組み、世界中の腕のない子供たちに義手を贈る活動をしている米の非営利団体「E-Nable（イー・ナブル）」が今回の立役者だが、何と彼らはすでに700家族に安価な義手1000体を贈ったほか、義手の3D設計図もウェブ上で公開しているという。なるほど！これは

**「主が、貧しい人々に福音を伝えるようにと、わたしに油を注がれた。」**

**ルカの福音書4章18節、**

というイエスの言葉そのものだ。「福音(ゴスペル)」とは“良い知らせ(Good News)を指し、「油を注がれた者」とはメシア(キリスト)の意味で「王として召された者」のことをいう。神を信じるということ、宗教団体に加盟することや特殊な人々による行為と考えている人は多い。そうではなく、誰でもいつでも無差別かつ無制限に愛して下さる王である神の恵みに浴することであり、それによってどんな状況にあっても喜びを取り戻すことが出来る。その情報についても、聖書で全ての人に向けて公開されている。

2015-7-3

